

市内企業で脱炭素の取り組みが広がっています

– 「つばめ脱炭素チャレンジ」成果報告会で実例を紹介します –

燕市は2022年6月に、2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティを宣言し、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを進めています。

「SDGs（カーボンニュートラル）推進事業」では、これまでに市内8社の中小企業版SBT認証取得につなげたほか、「つばめ脱炭素チャレンジ」では市内22社が排出量把握を実施するなど、脱炭素の取り組みが広がっています。

2月10日には、燕三条地場産業振興センターで、つばめ脱炭素チャレンジの成果発表会を開催し、市内企業の実例紹介などで情報を発信し、さらなる脱炭素を推進します。

【脱炭素経営促進に向けた取り組みの成果】

・SDGs（カーボンニュートラル）推進事業＜計画・目標の策定＞

「SDGs（カーボンニュートラル等）促進事業補助金」を活用し、令和5・6年度に市内8社が国際認証である中小企業版SBT認証(※)を取得。自社の温室効果ガス排出量削減目標を策定し、脱炭素経営を推進しています。

※SBT認証とは：企業がパリ協定に準じた温室効果ガス排出削減目標を設定していることを示す国際認証（現在では、全世界で約10,000社・国内で約1,500社が取得。燕市内における取得社数は相対的に高水準となっており、積極的に取り組んでいる地域となっています）

・つばめ脱炭素チャレンジ（中小企業CO2排出量可視化促進事業）＜排出量把握＞

市内に事業所を持つ22社が37拠点で排出量の把握を実施。「見える化」の取組を進める中で、「空調の効率化を図るなど自身の意識が変わった」、「従業員が能動的に動いてくれるようになった」といった声があがっています。

【つばめ脱炭素チャレンジ成果報告会の開催（燕市・三条市・新潟県共催）】

1.日 時：2月10日（月）

午後4時～6時（受付は午後3時半～）

2.会 場：燕三条地場産業振興センター

リサーチコア7階 マルチメディアホール

3.内 容：気象予報士から気候変動と脱炭素化についての講演、取組企業によるパネルディスカッション・脱炭素への取り組み事例の紹介

4.申 込：専用申込フォームからお申し込みください。



◀申込フォーム



本件についてのお問い合わせ先
市民生活部 生活環境課：石川
産業振興部 商工振興課：松本
電話：0256-77-8167（直通）